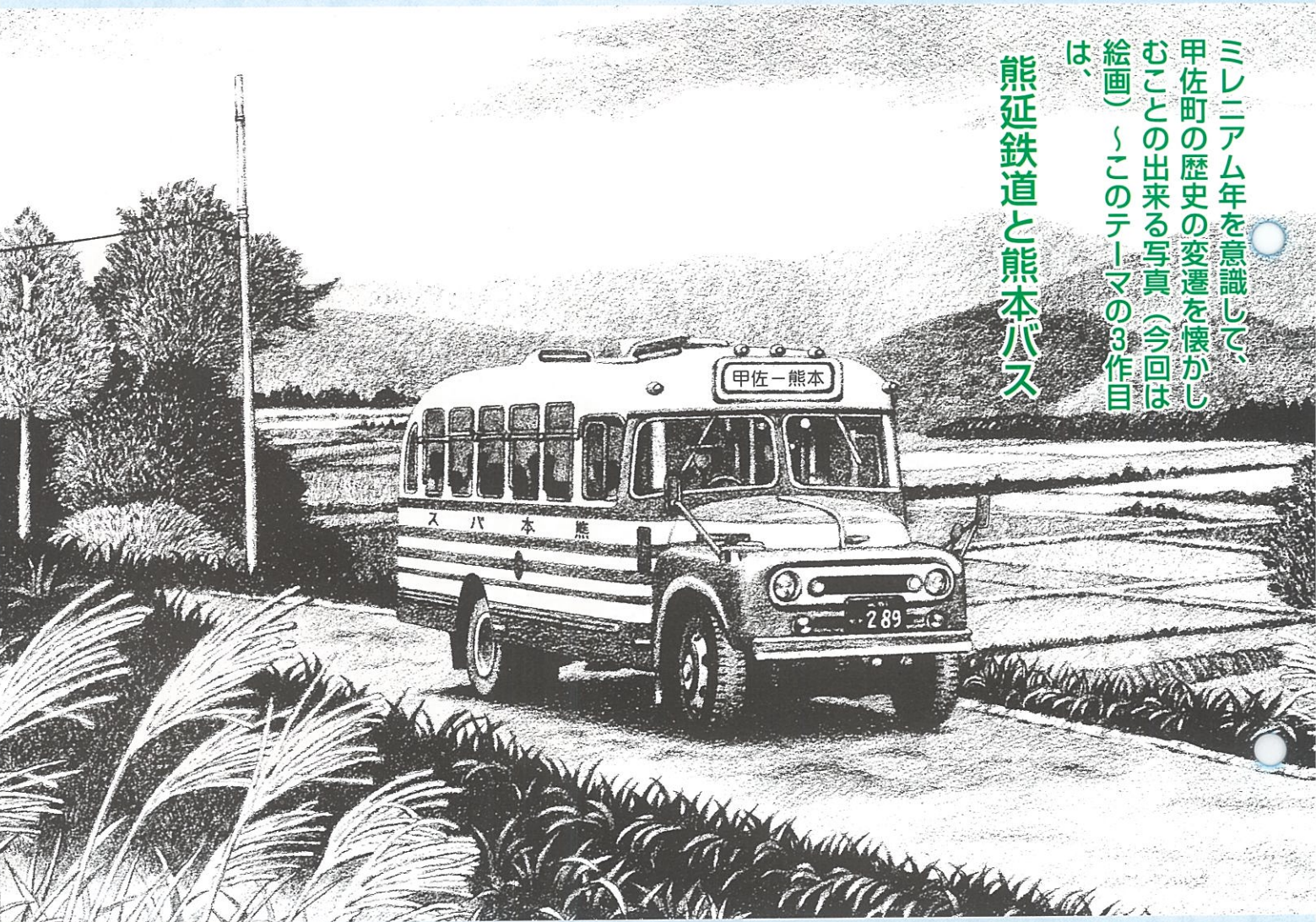




# 清流

発行 〒861-4696 熊本県上益城郡甲佐町大字岩下194 甲佐町議会 ☎(096) 234-1111 編集 議会広報編集特別委員会

ミレニアム年を意識して、  
甲佐町の歴史の変遷を懐かし  
むことの出来る写真(今回は  
絵画)〜このテーマの3作目  
は、  
**熊延鉄道と熊本バス**



昔なつかしのボンネットバス。昭和39年に熊延鉄道は廃止され、熊本バスの運行となった。次のページに熊延鉄道の写真を掲載  
【絵と写真の提供=熊本バス株】

現在運行中の  
新型車の勇姿



### 目次

町の基本構想と過疎計画	2P
宮林署跡地にグランド	3P
これだけは聞いておきたいQ & A	4~5P
4人が一般質問	6~9P
産廃施設に建設反対	10P

# 町の将来構想が明らかに

九月議会は、14日から19日までの期間中に、実質3日間で終わりました。今回、村上彪町長が提案した議案は15件。内訳は、前年度の決算の認定事案が6件、基本構想と過疎計画の議決が2件、工事請負契約の承認が2件、条例の改正が1件、今年度補正予算が3件、ほか1件でした。

初日の議案は決算の認定と基本構想、過疎計画の審議。

2日目は一般質問と工事請負契約の承認。

3日目は、今年度補正予算案などでした。

ここでは、皆さんに身近なものを厳選して、紹介します。

## 基本構想を了承

来年から十年の期間において本町のまちづくりの運営指針となる計画「基本構想」が、議会に提案されました。

町づくりには計画性が必要です。これまでも「基本構想」はあったのですが、その計画期間が過ぎようとする段階になったことから、町は昨年2年の月日をかけて、住民16人を加えた研究グループ26人に町づく

り計画のまとめを委ねていただきました。

これが出来上がったから、本町のビジョンとして正式に議会の議決を求めたものです。

議会では、今後の10年間の目標を網羅したものが出来上がったので、この構想に則って一つでも多く実現に向けて努力をお願いするという意見を述べてこれを了承しました。

## 過疎計画を了承

本町は昭和30年の町村合併ごろから続いている人口減少の弊害によって、人口の高齢化や社会基盤の機能の低下という現象を生み、今でもこれが深刻な問題となっています。

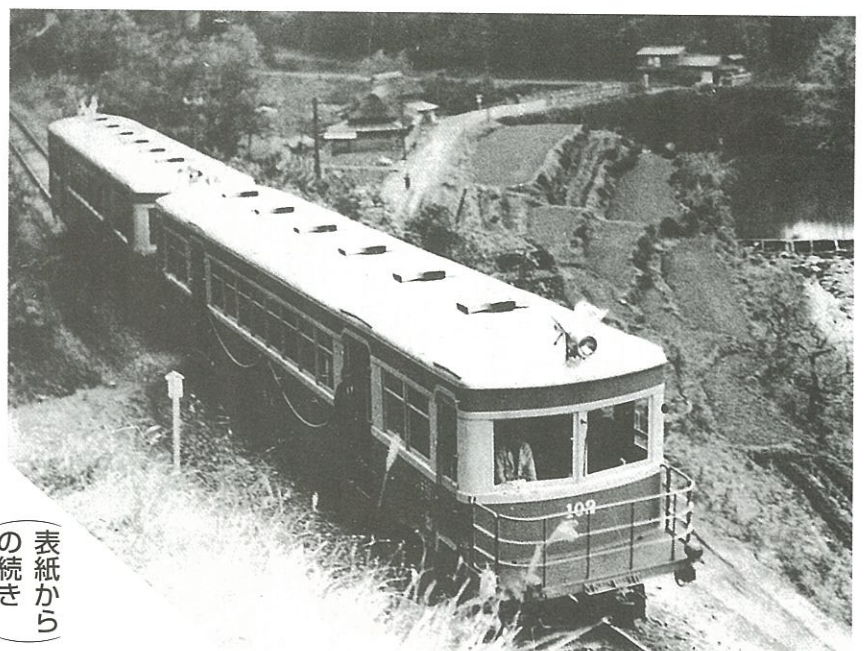
町ではこの対策を講じる方策として「過疎地域自立促進計画」を議会に提出しました。

その内容は、豊かな自然環境を生かす工夫、農・林業の生産基盤の整備、観光施設の整備などと共に、交通・通信体系の整備、都市などとの交流、住宅政策の整備などを、計画の戦略としております。同時に、向こう5年間に行う事業の中心も示しました。

議会の意見では、過疎からの脱却、自立ということを考えるときまだまだ計画そのものが十分であるとはいえない。

基本構想と過疎計画の自身は、町の広報誌でご確認頂くものとして、本紙では説明を省きます。

しかし、当面は計画に示した事業を行うことにより、最大の効果が上がるように努力されることを期待する。人口増加の対策はこれまで乏しかった。今後とも本気でやってくれ、という意見を述べてこれを了承しました。



（表紙からの続き）

## 西寒野（小川島付近）を走る上りのディーゼル動車

大正元年に熊延鉄道(株)は会社を設立。設立当時の名称は御船鉄道(株)。甲佐までレールが延びたのは大正12年のことでした。煙を吐く機関車がディーゼル動車に変わったのは昭和24年。しかし、昭和39年に鉄道部門は廃止され、バスの運行に切り替った。社名も熊本バス(株)と変更。

今では資本金1億円、258人の社員を抱えるまでになった同社は、私たち甲佐の暮らしや産業の動脈でありつづけています。

### 運動広場の能力

200mトラック

又は

サッカー場

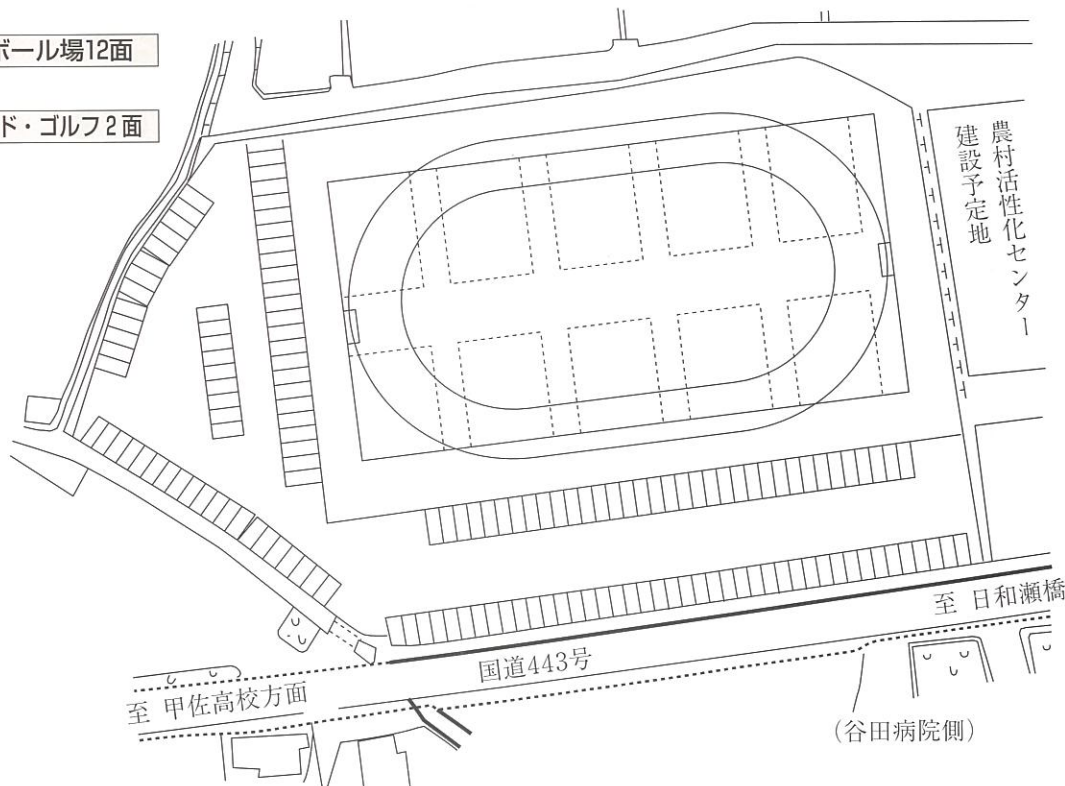
又は

ゲートボール場12面

又は

グラウンド・ゴルフ2面

(ショッピングセンターサエラ側)



## 営林署跡地が町のグラウンドに

# 多目的運動広場として使用

全体面積およそ2万平方メートルあった営林署跡地は、昭和60年におよそ7千平方メートルを本町が購入して健康作り広場として利用していました。

そして残る1万3千平方メートル余りの土地が今年の春、本町側に所有権が移ったことは本紙既報のとおりです。

その後土地開発公社が行っていた土地造成も完了したので、町長は議会に、

多目的運動広場として、晴れて使用したいとする条例を提案してきました。議会は、これを歓迎して承認しました。

なお、敷地内には1500台の駐車スペースがあり、運動広場として能力は表のとおりです。

また、隣接する、いままでのゲートボール場には、農村活性化センターの建設を今年度末までに建設する計画があつています。

### 決算は特別委員会で 審査を継続

自治体は年度開始前に議会の承認を経て予算を確定し、この予算の範囲内で一年間その自治体を運営しますが、一年が終われば、最後にその運営が目的どおり、効率よく使われたかどうかの判断を議会に仰ぎます。

今回村上町長はそうしたルールに基づいて、一般会計など6つの会計の決算を議会に提案したものでした。

議会には、予算を確定させた経緯から、それが公正に執行されたかの結果を見届ける権能がありますから、その重要性と議会組織の実態から特別委員会を設けて慎重に審査をすることになりました。

つまり、議会としては審査の権限を特別委員会に付託して、九月議会以降に継続して審査を依頼したということになりました。

### 篠原選手！ 御疲れ様でした

4年に一度のスポーツの祭典「オリンピック」が終わった。

日本人選手の

頑張りで、大方の予想を上回るメダルの獲得が出来たが、私見で申し訳ないが。柔道競技の表彰式で、篠原選手の涙を浮かべた悲痛な、ゆがんだ顔。私の脳裏に残って仕様がな。

### ぜひ休憩

した。

篠原選手にとっては不可解で、悔しくて仕様がなかったと思う。しかし、試合を見ていた世界の良識派は、理解している。

篠原選手、御疲れ様でした。

# これだけは 聞いておきたい

9月議会の補正予算。この審議の中で、  
聞きたかったことを聞きました。

## 論 点

### Q アンド A



改修が構想段階に入った中央公民館

### 中央公民館 改修も 今後の課題！

#### Q 1

過疎計画のな  
かで生涯学習セ  
ンターの整備の  
構想があるが、  
これは、中央公  
民館の改修をに  
らんだものか。

#### A 1

中央公民館の  
改修ということ  
では補助事業の  
対象とはならな  
い。現在の公民  
館も建設後相当  
年数も経ってお  
り、制度事業の  
なかで、この生  
涯学習センター  
の構想をあげて  
いる。

### 甲佐町過疎地域 自立促進計画 を策定！

#### Q 2

甲佐町過疎地域自立促進  
計画を見ると、例えば基本  
方針として本町の地域資源  
である豊かな自然と環境保  
活かしたイベントや環境保  
全に対する取組や後継者の  
中山間地帯の振興策を行う  
となっている。これは具体  
的な重点施策が、財政的な  
措置と関連しなければ意味  
をなさないと思うがいかが  
か？

#### A 2

過疎自立計画の中では、  
それぞれの基本方針の項目  
の中でおおまかなまちづく  
りの目標を掲げたもので、  
会計年度において、目標達  
成のために施策形成をやっ  
ていく。今後5年間の中で  
重点施策を満たすようにし  
て、指摘の点も取り込んで  
いく。

### 行革により 職員数5%の 削減を計画！

#### Q 3

今期の補正予算で市町村  
職員採用共同試験経費負担  
金を計上してあるが、職員  
の定数や退職等を考慮した  
うえでの採用計画なのか。

#### A 3

本年から行政改革を打ち  
出し、将来5年間を見通し、  
5年後には5%の職員定数  
削減を計画している。来年  
度は、2名程度を採用予定  
である。

### 町内一周駅伝の コース変更は なぜ？

#### Q 4

町の駅伝コースが、変更  
されると聞いているが、ど  
のような状況を考慮しての  
変更か？

#### A 4

今回で25回目を迎える大  
会で、コースは中央公民館  
をスタートし仁田子堤防か  
ら安津橋をわたり船津を経  
由するが近年の交通量の増  
加により、特に安津橋付近  
の通行方法については信号  
機の指示に違反するとの事  
で、警察の指導もあってお  
りコース変更はやむをえな  
いと考えている。



今年からコースが変更される町内一周  
駅伝。問題は安津橋の交叉点にある

Q 5

分別収集で、岩下2区の方でも、もう一箇所設置して欲しいという要望があっている。高齢化を考えたときに、運搬方法や距離の面で負担がかからないように考慮していただきたいが、どう考えているか。

## リサイクルステーションの追加設置は可能か？

A 5

リサイクルの分別収集については、昨年から実施し、ステーションが43箇所、今年は50箇所設置して実施しているが、各部落の要望に基づきリサイクルステーションの増設については検討していく。

## 児童手当を就学前まで引き上げ！

Q 6

補正予算の児童福祉総務費の中で、被・非用者就学前特例給付金が1723万円ほど計上されているが、内容を知りたい。

A 6

従来3歳までの給付であった児童手当を就学前まで引き上げる改正があり、その3歳から5歳までの分の児童手当の給付金を今回予算措置をした。対象児童数は約350名となっている。

## 緊急雇用地域 特別対策事業で不法投棄 に対応

Q 7

先般、熊日新聞紙上で甲佐町の町内に廃棄物の不法投棄があり、その処理に困っているといった記事の内容であったが、具体的な対策は講じているのか？

A 7

従来は、ゴミの不法投棄に対しては、部落の区長と一緒に対応をしていた。本年度に限っては労働省の緊急雇用地域特別対策事業により、100%補助の事業だが、この適用を受け8月から町内の不法投棄箇所をピックアップして回収を行っている。指摘の記事の内容については、家庭のゴミというよりも農薬用ビニールや電化製品の不法投棄が主で、これらについてはできる限り国の事業の中で回収していきたい。

## 甲佐10マイル ロードレース テレビ放映の 再考を！

Q 8

これまで甲佐10マイルロードレース大会については、KAB放送のほうでテレビ放映があっていたが、9月の補正予算でも予算措置はなされていない。25回の大会の中で8年間

続いた放映であり、有名な大会となった本大会を盛り上げていくには、財政上の問題があるにしろ削減すべきではないと思うが、どう考えているのか？

A 8

昨年までKAB放送の方で放映されていたが、財政的な問題もあり事情を説明した。



第23回甲佐10マイル公認ロードレース大会 (写真提供=教育委員会)

その後テレビ局の方で全国のトップレベルの大会でもあり独自に放映の検討を行うという話もきている。大会のスポンサーをとれるように努力したい。できない場合は、再度考えたい。

一般質問

答弁



北畑常博議員

大井手川などの環境保全対策をきく

北畑議員

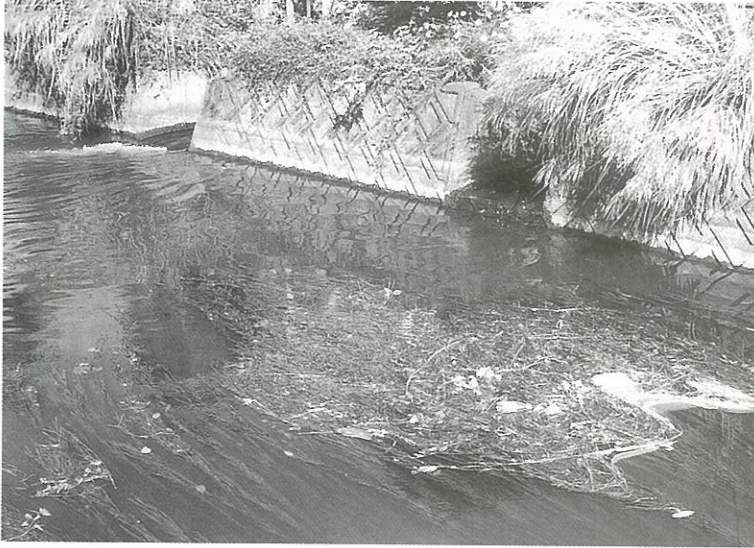
町の中心を流れる大井手川に、家庭排水のほとんどが流れ込む。町は浄化槽によって川の浄化をはかる方法を取っているが、悪い菌を殺すためには強い薬を使わなくてはならず、そのこと

によって魚も死滅する。大井手の環境づくりをやる

ならば、将来のため大きなパイプによる公共下水道が必要と思うが？

町長

集落排水は町長就任時よりの問題である。当時、公共下水道・集落排水・農村排水事業等の財政計画を行ったが、250億ぐらいかかると言うことで財政状



市街地を流れる大井手川。農業用水と家庭排水が同時に流れる

況を見ても不可能であるので、当初合併浄化槽を進めて来たが、合併浄化槽もなかなか進まないのが現状で、今後、集合体の合併浄化槽の面で研究・検討して行きたい。

北畑議員

大人が環境を崩し、その環境を見捨てて、子供に川の生態、水生動物の教育を行っても、環境問題の解決にはならないのでは。

町長

基本計画には当然財政が伴うもので、指摘を踏まえて、川の浄化・河川の浄化について検討したい。

北畑議員

自然を作るばかりが環境ではない。自然にマッチし、美味しい水を飲まれる、と言うことが環境と思うが。

町長

環境というのは自然もだが、そこに住む人の文化が最も大事だと思う。

中高一貫教育はどうなったのか？



実現するか、甲佐高校での中・高一貫教育

北畑議員

一貫教育については、過去何回か質問を行って来たが、はっきりとした答弁をもらっていないが、どうなのか？

教育長

県は1月に県中高一貫教育研究会を設置している。主な検討事項として、県における一貫教育のあり方、一貫教育における入学者の決定、さらに一貫教育の推

進指定校に関する事項について会議が行われる。その報告を待って教育委員はその研究成果をもとに中高一貫教育の基本的な方向を決定すると聞いている。

町長

一貫教育には高校が入りますので、県の考え方が一番大事だと思う。県の教育長と会ったが、今時点では県の考え方が見えな

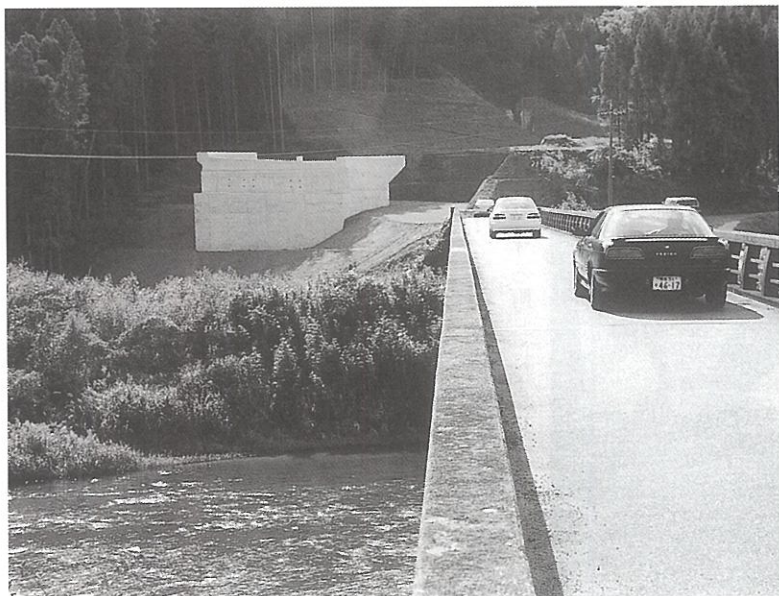
# 甲佐大橋などの完成はいつか

## 佐藤良一議員

佐藤議員

耕地課長

町内の甲佐大橋・日和瀬橋・益城橋、それぞれ工事が進んでいる。それぞれの進行状況と完成の時期について尋ねたい。で開通は4月の予定だ。



中央町側の橋台が完成した益城橋

建設課長

日和瀬橋の工事は、現在、川の中にピヤが1本立っているが、もう1本こちらの右岸に立つ。それから兩岸の橋台等の工事がある。

平成15年か16年の3月までに完成させたいというのが、県の考えと聞いている。益城橋については、川の中に2本のピヤが立つ予定で、今年甲佐側のピヤが立つ予定と聞いている。橋の完成は平成17年の3月の時点と聞いている。

## 予防接種を復活しないか

佐藤議員

予防接種について尋ねたい。流行性感冒の予防接種はこの2、3年行われていないようだ。

聞くところによると、風邪のウイルスが、血液や神経に入ったりと、ギランバレー症候群とかフィッシャー病候群とかというものがある。これにかかると大変長引き、1年も2年も苦しむということだから、この

際予防注射を復活させてはどうか。

健康福祉審議員

インフルエンザの予防注射については、平成6年国が廃止したので、本町や御船町・嘉島の場合は止めている。

最近65歳以上の方の死亡率が高いといわれている。国も法制化に向けて準備しているようにも聞いている。本町でも検討して行きたいと思う。

## 町村合併を勉強する

佐藤議員

最近、町村合併について話題になっている。本町も昭和30年に合併したわけだが、今回の合併問題について、我々も勉強が必要と思うが、町長は町村合併についてどう考えておられるかおたずねしたい。なお自治

省から具体的な通達があったか。

町長

町村合併については、国も県も働きかけをしているが、住民が主体ですから、住民のコンセンサスが大切だと思う。私は慎重に考えなくてはならないと思っています。自治省からは何もありません。県からエリアを示したものはある。

## その時期ではないか

佐藤議員

近い将来、町村合併が現実になるとしたら、その時点で町の拠り所となるところが必要と思う。そういう意味でも庁舎建設については、期が熟していると思う。資金面とか場所の問題とか、色々あると思うが、町長の考えを聞きたい。

町長

どうなるかわからないが、町の拠点というのは、ちゃんとしておく必要があると思う。

庁舎建設は諮問機関みたいな、検討委員会を作って、検討して行きたい。



見慣れた役場庁舎。新築の時期はいつか

# 介護料金と保険料 町独自の助成を考えるべきでは？

## 佐藤義郎議員

佐藤議員

介護料金の1割個人負担

によって、認定者が認定等級どおり介護サービスを受けていないのでは？ 又、認定にもれた人に対する町

の対策を明らかにしてほしい。

健康福祉課長

町内には、493名の認定者がおられ、本人の意向によってケアプランを作成



介護認定のための訪問調査を受ける高齢者

している。個人的な利用状況は把握できていない。

認定にもれた方々の為には、社協により生きがい型デイサービス、生活管理指導派遣事業を実施している。

佐藤議員

ある自治体では、個人の負担を軽減し、十分な介護を実施している所もある。本町独自の助成を考える

べきでは？

町長

個人負担に対する町の助成は、介護保険制度の根底を揺るがすものであり、考えない。

佐藤議員

介護料金の個人負担は改善すべきである。もう一つ保険料金の徴収について、低所得者に配慮すべきでは、

町長

保険料金についても、国の制度に従ってすべての方に負担してもらいたい。

佐藤議員

学校主事を臨時職員に変えた結果、16日の出勤日数の制限により学校は困っている。行政の考えをあらためて聞く。

町長

町として小・中学校の校長先生方との教育懇談会を設けて、町の行政改革を説明し、御理解を得た。問題が出てくれば、別に派遣して対応していく。そして、節約できた分は、学校施設にあてる。

佐藤議員

教育委員会は独立した機関であり、町の行政改革に従うだけでなく教育行政を大事にすべきである。



給食を運ぶ配送車。この業務は民間に委託中

## 給食センター配送の民間委託は経費増でないか？

佐藤議員

経費節減を考えて、民間委託に変わったが、かえって経費増をまねいたのではないか？

学校教育課長

民間委託にした場合と臨

時職員方式、それとパート

方式などに考えてみた。

パート方式は、雇用問題で難があり、臨職の場合と民間委託とは大差なく、入札制度を導入した民間委託を選択した。



# 庁舎建設 考える場を設けないか

## 田上益男議員

田上議員

現在の庁舎が建ってから四十数年経っているが、利便性、安全性の面で問題ではないか。例えば、本庁と

環境衛生課等との業務連絡には自転車を利用し、また役場に來られた町民が道路を横切る状態だ。そして駐車場も狭過ぎるということ、新築の機会が来ている

町長

住民からも文化的施設の要望がある。検討委員会等を考える必要がある。

町としては、町民や各種団体の代表を網羅した一つの諮問機関をつくり、この一大プロジェクトに臨むべきではないか。

町長

現在、建設に必要な基金が不足している。諮問機関等の委員会をつくる。

田上議員

一つの建物の中に、文化的、体育行事が効率的に出来るような多目的ホールも考えるべきではないか。



役場庁舎の全景。築後40年を経過している

## 合併浄化槽 向こう三軒両隣方式

田上議員

市街地の下水道が無理なら、向こう三軒両隣の方々が共同で使用される合併浄化槽を考えたらどうか。

町長

市街地において、共同の槽が出来れば賛成である。今後研究したい。

環境衛生課長

共同の槽については、他町ではアパートには設置されている。制度的にはあるが、土地の登記の問題等があり、難しいという県の答えである。

## 役場／横田

# 水路改修をきく

田上議員

甲佐町は農業排水と家庭廃水が同じ水路に流され、異常な臭いがする時期がある。例をあげると、役場から干場自転車の所と、谷田病院から守口屋に抜ける水路であるが、何らかの解決策はないか。

耕地課長

役場からの排水路については、豊永文具店の裏の水路の改修を計画する。谷田病院周辺については常時水が流れる方向で検討したい。

環境衛生課長

横田へ流れる水路は、冬場の水を確保したい。病院周辺については、昨年浚渫をしたが勾配がなく、滞留している状況にある。現地を調査する。

## 白旗山・清正公山 公園整備をきく

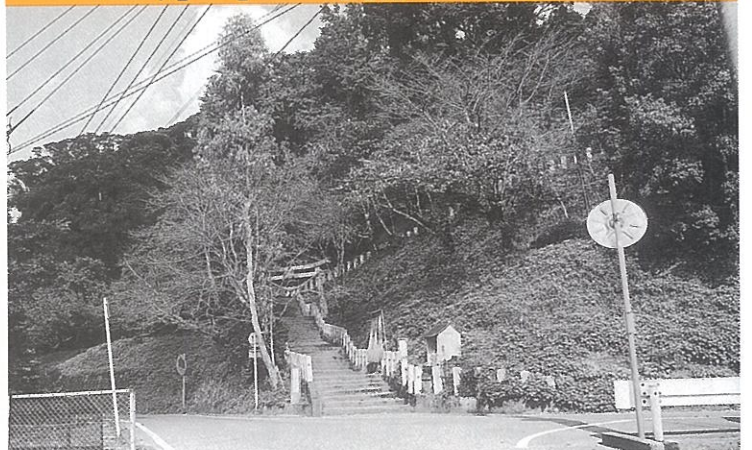
田上議員

津志田公園は水に親しむ人が多く訪れ、また白旗山の秋から春の風情は素晴らしい。今後は清正公山、白旗山等の整備をすべきだ。

同時に既設の公園で軍人墓地がある。ここは遺族会が管理しているが、町の方で手助けをお願いする。

企画振興課長

公園の整備については、平成元年に策定した緑川リバーサイドパークイン甲佐が、10年余経っているの



清正公山公園の入口周辺。身近な公園として整備が必要

改定版をつくる準備がある。その中で取り組みたい。軍人墓地については所管として捉えていない。

田上議員

津志田公園のどんぐり林には以前ロープが張られ、車両進入禁止の看板があったが、今はない。適切な処置を望む。

企画振興課長

後日、周辺一体の整備を計画している。その時一緒に処置したい。



7,800人の署名

**建設反対**  
**町と議会を動かす**

産業廃棄物  
 中間処理場

町と議会は、10月、建設反対を明確に表明

ヤナの上流部に建設の計画がある産業廃棄物の処理場については、上豊内の皆さんを中心とした268人から建設反対の陳情書が議会に提出され、議会は6月の審議で、「その内容が妥当」と認めて、採択していただきました。

そうした6月の議会が終了した後、本町のほぼ全部の部落から、同じ内容の陳情書が、再び提出されました。その署名者は7532人。

そして9月議会。議会は、同じ内容の再びの陳情は、再びの議決に及ぶまでもなく、「採択」の議決と同様に扱うことになりました。

6月と9月の反対陳情書、合わせて7800人と上豊内区民の熱い思いを真摯に受け止めた町と議会は、10月、建設反対の意思を明確に表明しました。

7800人の住民に官が加わったこのパワーは、絶対に産業廃棄物処理場の建設を阻止しなければなりません。



上豊内 佐野安春

私はこの町に生まれ育ち、この町で仕事をし、生活をし、この町からほとんど離れたことがなく、これからも離れることはなく、この町で生涯を過ごすことになると思います。それ故、この町が過剰しやすい町であって欲しいのです。「町政について」と問われて、色々と考えるところはありますが、我が家の近くに産業廃棄物処理場が建設されようとしていることが気掛かりです。今年6月定例議会で上豊内を中心とした町民の陳情を受け、町議会は満場一致で建設反対

の陳情を採択され、町長も反対の先頭に立っていきたくありません。地元住民・町議会・町の産廃処理場反対の意志が一致し、いくらか安堵するものがありますが、この問題は反対の意志表示で終わることではなく、それは始まりの合図だと思いません。絶対に建設させない積極的な行動を町として起こしていくことが必要だと思えます。

その面での具体的な動きが見えないのが心配です。

これからも甲佐町が「花と緑と鮎の町」の言葉に相応しい、花をはじめとした産業の発展と自然環境を守り育て、教育・福祉を充実させ、子どもも大人も高齢者も過ごしやすい町として発展することを願うものです。

花と緑と鮎の町に相応しく

傍聴席から一言

編集後記

今年3月の有珠山の噴火に驚いた私たちは、7月の三宅島雄山噴火におびえた。まさか20世紀の最後の年にミレニアムの極刑の審判が出されたのではないかと錯覚しそうな感じが残っている最中、9月にはシドニーオリンピックで花が咲いた。田村亮子の金メダルに続いてマラソンの高橋尚子の金メダル。

今度は国中が元気を取り戻した、と思っている最中、10月、鳥取県西部地震がまた起きた。マグニチュード7.3だった。

地下のマグマの活動をなめたらいかん、と驚いているとき、再び朗報。白川英樹氏のノーベル化学賞。めまぐるしい展開と、難産を重ねて21世紀は来たぬるか。我なにをか思わん。

(H・T)